



E:Education
for
S:Sustainable
D:Development
O:omagari
m:minami

H.27.11.5 No.8

大曲南中学校 3年生 国際教養大学生の夢に感動

9月11日に国際教養大学を訪問し留学生と交流をした3年生ですが、10月26日(月)は教養大の学生の方に学校に来ていただき、学ぶ目的や将来の夢などについて語っていただきました。

お話してくれたのは、USAからの留学生アリさんと熊本県出身の飯牟禮克年さんです。

アリさんは、「日本の文化を学びたい」「生物学を学び動物園で働きたい」という夢をもって留学しました。首都圏の大学より、日本人と多く交流できるということからAIU(国際教養大学)を選びました。特に興味のある動物はキツネだそうです。

飯牟禮さんは、高校2年生の時にアイルランドに留学。辛いときに、ホストマザーの愛情や温かさを感じました。そして大切なのは語学力だけでなく、愛情や感謝の気持ちであると学んだそうです。また、AIUに入学後、挫折しそうになったとき、多くの人と話をし、多くの本を読みました。そして自分で考えて自分の答えを見つけたそうです。それらを熱く語ってくれました。



まず、出会いを大切に！
しんどい時こそ感謝！
本気でぶつかっていくこと！
目の前のことを自分らしくがんばる！
思いやりを大切に！
自分を大切に！

生徒の感想の一部



足立区の先生方も参加

僕は2人の話を聞いて、アメリカ人も日本人も好みはわりと同じで、たとえ国は違えど、考えていることや好きなことなどに違いはなく、同じ人間なんだということを改めて感じました。「答えを見つけるのは自分なんだ」ということは、今僕にとって必要なことだと思いました。答えがなかなか見つからなかったとしても悩んでいてもしかたないから、目の前のことに一生懸命になっていこうと思います。

AIU初代学長中嶋先生の「教養とは生きるための武器ではなく自分を磨くためにある」という言葉は、「社会の中を生き抜くためにだけ学ぶのではなく、自分が輝くために学ぶ」ということだと思いました。
これからの受験勉強は自分が輝くためにしていきたいと思いません。

留学中の困難や、AIU入学後の挫折を経験し、自分自身や学ぶことについて疑問を抱き、それがもとになって自分の生活や日常をよりよいものにしていくところがすばらしいと思いました。「学問とは学び問うところまでであり、日常のすべてが学問である」ということばが印象に残っています。

留学したとき「言語も人も学校も何もかも違い悩み泣いたこともあった。でもホストマザーが優しくなでてくれてその温かみを感じた。」と話されていた。私はコミュニケーションは言葉で伝わるだけでなく、行動や表情からでも伝わるのだということを実感した。